

(研究に関する情報公開)

## 『医療機関における公認心理師実践実習の成果と 質の向上に関する研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

### 【今回の研究対象となる方】

2021年4月より2023年1月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院 臨床心理部で公認心理師 実践実習(基礎実習)に参加された方

### 【研究期間】

2023年2月22日～2026年3月31日まで

### 【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター病院 臨床心理部 臨床心理室  
三枝 華子

### 【研究の背景・目的】

2018年度より、公認心理師養成のための学外実習が開始されました。なかでも医療領域の実習は必修とされ、公認心理師の養成において医療機関が担う役割は大きいと考えられています。一方で、公認心理師は誕生してまもない資格であるため、実習に関する知見は浅く、研究の蓄積や様々な検討が望まれています。

当院の実習においても、皆さんにとってよりよい学びとなるよう検討を重ね、体制を整えてきた背景があります。そこで、今回の研究では、皆さんに提供した実習の取り組みが、皆さんの学びにどう繋がっているのか様々な側面から探りたいと考えました。具体的には、実習に対するフィードバックの資料を活用し、実習において得られた体験・学びや、学びを促進する要因について分析・考察したいと考えています。

得られた結果や考察は、当院の実習体制のブラッシュアップに活かし、今後受け入れる実習生の方々に還元いたします。また、研究成果を実習指導に携わる方々へ広く発信することで、よりよい実習体制や指導のあり方を考える上での一助となることを目的とします。

【利用する資料について】

①「実習前後アンケート」

- ・2021年4月～2023年1月までに当院の基礎実習を受けられた方の回答
- ・「実習前後アンケート」については、アンケート回答時に研究利用の可能性について提示させていただき、既に皆様に承諾・不承諾を選択していただいております。承諾を選択して頂いた方だけの回答を分析対象とします。

②「実習終了後 振り返りシート(以下、自己評価シートと呼びます)」

- ・2021年11月～2023年1月までに当院の基礎実習を受けられた方の回答
- ・「自己評価シート」の記載は2021年11月より実施し始めた取り組みです。このため、今回資料の研究利用について検討していただきたいのは、2021年11月以降に基礎実習に来られた方のみとなります。

【方法】

- ・「実習前後アンケート」の数値結果:数量化および一部の項目については統計的分析を行う予定
- ・「実習前後アンケート」「自己評価シート」の記述内容:質的記述的分析を行う予定

【プライバシーの保護について】

皆様から得られた記述内容のデータは、名前など個人情報を切り離れた後に分析をするため、個人が特定されることはありませんが、得られた情報は厳重に管理します。本研究の結果は学術集会での発表を予定していますが、その際にも個人が特定されることはありません。

【研究利用の拒否、その他の質問について】

本研究に同意できない場合や本研究に関する質問、ご確認につきましては、下記へご連絡ください。同意できない場合にも、学校の成績や実習施設側の評価において不利益を被ることは一切ありません。

ただし、「実習前後アンケート」は無記名で回答いただいているため、研究利用の承諾撤回が困難となりますことをご了承ください。また、研究利用拒否を表明される場合には、2023年2月末までにご連絡ください。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床心理部 臨床心理室

氏名 三枝 華子

電話番号 042-341-2712(内線:7290)

e-mail:saigusa.hanako@ncnp.go.jp